

こうじや きょうだい会

こうじや生活支援センターでは障がい当事者を兄弟姉妹に持つ方（きょうだい）が集って自分の想いや悩み、家族に対する気持ち、そしてこれから先のことを一緒に考える「こうじや きょうだい会」を開催しています。

会で発言をしなくても、他の方々のお話を聞くだけの参加でも OK です。

また、当事者の方のこうじや生活支援センターの利用の有無や、きょうだいの方の居住地は問いません。

同じ「きょうだい」の立場で、今までのこと、そしてこれからのこと、想いを共有しませんか。

※会への参加のみではなく、個別のきょうだい相談も受け付けております。お気軽にご連絡ください。

申し込み

開催

偶数月 第1土曜日

koujiya.kyoudai@gmail.com

16:00~17:30 Zoomでの参加もできます！

かまた生活支援センター

かまた生活支援センターでは定期的にプログラムを行っていますが、11月には単発のイベントも行い、しながわ水族館に行きました。

その際、お身体の不調で歩きづらい方もいましたが、他の参加者が「適宜、休憩を挟みながら歩いた方がいいから、今休みませんか？」と声を掛け、持っている荷物を代わりに持つなど、気遣う場面が多々ありました。

プログラムの中で参加者同士が助け合うことはしばしばあります。病気があってしづらい部分がある人のことを自分もしづらい部分があるからと苦しさや痛みで共感し、手を差し伸べることができる姿にハッとさせられます。皆が自然に声を掛け合い、助け合う、そんな瞬間に立ち合った方の中で「人を思いやることは大事ですね」と話していた方もいました。

年内最後のプログラム「ウォーキング」（以下写真）は皆でわいわい話しながら歩いたことで「足は疲れているけど、時間は早く感じた。」と話していた参加者もいて、楽しく過ごすことができたようです。この一年間のプログラム、どこを切り取っても楽しい時間だったように思います。





ホーム蒲田 夕食会再開しました🍴

今回は9月から始まったホーム蒲田の夕食会をご紹介します。以前ホーム蒲田では月曜日に夕食会が行われていたのですが、新型コロナウイルスの影響で2年前から中止となっていました。現在も未だにコロナの脅威はあるものの、少しずつ前の生活を取り戻しています。夕食会についても、入居者の皆様に温かい栄養のある手作りのお食事をみんなでわいわい食べてもらいたいという思いから、再開に至りました。

食事は調理担当の職員が作ってくれます。入居者の中では買い物や調理のお手伝いを希望して行ってくれる方もいたり、料理の様子を眺めに来る方がいたり、とてもいい雰囲気の中で料理が作られていきます。

今回の取材時のメニューはご飯、豚の角煮、豚汁、付け合わせの漬物2種類、柿です。職員と入居者で次々と食材が切られていきます。作る量も10人前だったので、切るだけでも大仕事です。味付けについては職員の適格な指示のもと、入居者が挑戦していました。「これぐらいでどうでしょう?」「うん、ちょうどいい感じですね。〇〇さんも味見してみてください!」といった会話が楽しそうに繰り返されていました。

ようやく料理が完成しました。すでに豚の角煮のいい匂いが建物中に広がっています。ずっと調理の様子を見ていた入居者の方も早速一口。感想何うと「おいしいね」と満足げな表情。「やっぱり手作りはいいよ。あったかくておいしい。一人じゃないしね。」と夕食会を満喫されていました。実際に筆者も皆さんと一緒に食べました。味はもちろんおいしかったですし、何より皆さんと「おいしいね」と言いながら食べることで心まで満たされました。

今後も皆様の心身ともに豊かになれるよう、夕食会を続けていければと思います。

